

➤ 歩道だまりの確保

課題	・ 交差点部において、歩行者が滞留する空間が狭い。 ・ 歩行者の車道へのはみ出しや乱横断が発生している。
対策内容	滞留する空間を新たに設置、もしくは防護柵等を整備することにより、歩行者と車両を分離し、安全な滞留空間を確保する。
効果	滞留空間を拡幅し、歩行者と車両を物理的に分離することで、歩行者が車両と接触する危険性が減少し、歩行者の安心感が高まる。

横断歩道前の歩行者が滞留する空間を拡幅（九州地方整備局福岡国道事務所）

○対策前



- ・ 横断歩道手前の歩道だまりが狭く危険

○対策後



- ・ 歩行者が滞留する空間を拡幅し、縁石およびラバーポールを設置し、安全を確保

歩行者が滞留する箇所へガードレールを整備（栃木県）

○対策前



- ・ 交差点部の歩行者だまりが車道と分離されていないため危険

○対策後



- ・ 交差点部の歩道だまりにガードレールを設置し、児童の安全を確保